



TSUNAGU

- 小から中への滑らかな接続におきて -

令和8年1月16日

我孫子市小中一貫教育だより
第403号

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室



我孫子市マスコットキャラクター
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

小中一貫オリジナルカリキュラム授業実践の様子を紹介するうな～！

キャリアでつなぐ白山中区カリキュラム～白山中・1年生「職業人講話」

白山中学校1年生総合的な学習の時間で、キャリア教育で小中をつなぐオリジナルカリキュラムの一環として「職業人講話」を実施しました。7教室で全7つの事業所から講師を招き、40分一コマの授業を2回実施。生徒は第1、第2で希望した職業の講話を聞くことができるように準備されていました。

講師のみなさんは、生徒の興味関心を惹くために映像を駆使したり、生徒にクイズを出したり、生徒と対話しながら進めるなど工夫を凝らすとともに、生徒から事前に提出があった質問事項に丁寧に回答されていました。また、講話の内容も、仕事に関することはもちろん、社会とのつながりや中学生時代にやっておいた方がいいこと、好きなものを職業にできる喜びなど生徒の意欲を高める話を具体的にされていたのが印象的でした。

生徒もメモをとりながら真剣な表情で聞いており、講師の質問に積極的に挙手して回答し、褒められている教室もありました。様々な職業に触れ、これまでとは認識を改めた面も多々あるであろう生徒たちが、さらなるキャリア発達に向け、この後、どんなことに取り組んでいくのかがとても楽しみです



つながる・広がる・支え合う～並木小・2年「地域の方との交流会をしよう」

並木小学校2年生生活科の時間でオリジナルカリキュラム実践授業を実施しました。地域の高齢者の方々との交流を深め、人との接し方や思いやりの気持ちを育むことが目的です。

元気な歌声で椅子に座っている地域の高齢者の方たちを温かく迎えました。子ども達はお客さん(高齢者)との遊びのブースに分かれて準備、代表の子が一人ずつお客さんの前に行き、自己紹介をして各ブースに案内していきます。手をつなぎながら仲良く移動する子もいました。

お客さんは最初のブースで子ども達と遊んだ後、時間いっぱい各ブース(ゴムロケット、わりばし鉄砲、空気砲、ストローアーチェリー等々全8カ所)を回るのですが、さすが自分たちで考え、工夫し、練習を重ねた遊び道具。子どもたちは大きな声で自分のブースへの呼び込みを行っていました。

また、ブースでの様子を見ていると、子ども達がやり方を説明したりやって見せたり、夢中になってうまくいくコツを教えていました。それを一生懸命に聞いている楽しそうなお客さんの笑顔もとても印象的でした。お客さんに喜んでほしいという目的をしっかりともち、準備段階から努力した成果が主体的な活動につながっていると考えています。

続いて昔遊びの時間となりました。ここでも8カ所のブースが用意されており、子ども達とお客さんが仲良く手をつないで移動している様子が見られました。上手に遊んでいる子に「どうやって遊び方を覚えたの?」と質問したところ、「去年、1年生の時におじいちゃん、おばあちゃんから教えてもらう会があった」と明確な回答があり、「それじゃあ、そのお礼が今日だね」と伝えたら大きくうなずいていました。

終わりの会では、子ども達から元気な歌声2曲に加え、手作りのクリスマスプレゼントが手渡されました。お客さんは歌声に手拍子をしたりプレゼントには満面の笑みで「ありがとう」と伝えるなど、本当にうれしそうでした。全体でのお礼の挨拶の中で、代表生徒が「また学校に来てください」という言葉があったことがこの会の成功を物語っているように感じました。お客さんの退場に合わせ、子ども達は「お別れアーチ」を作って見送りましたが、その中を通るみなさんの穏やかな表情や子ども達とハイタッチする姿に大変に意義のある授業、取り組みであったことを改めて再認識しました。

